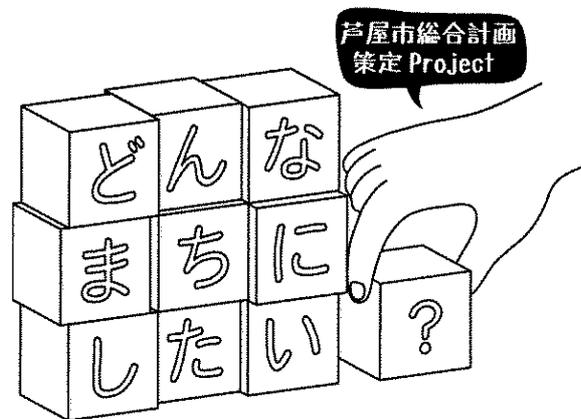


# 第5次芦屋市総合 計画策定に向けた 団体インタビュー集



令和元年7月 発行



# 目 次

## 1 はじめに

(1) 目的	1
(2) インタビュー団体	1
(3) 実施時期	1

## 2 団体インタビュー内容

(1) 芦屋市PTA協議会	2
(2) 芦屋市青少年愛護委員会	4
(3) 芦屋市保育推進保護者会協議会	6
(4) NPO法人 さんぴいす	8
(5) 子育て自主活動グループ ベビ☆パラ	10
(6) 芦屋市人権教育推進協議会	12
(7) 芦屋市民生児童委員協議会	14
(8) 芦屋障がい団体連合会	16
(9) 芦屋市医師会	18
(10) 芦屋市歯科医師会	20
(11) 芦屋市薬剤師会	22
(12) NPO法人 芦屋市体育協会	24
(13) 芦屋市レクリエーションスポーツ協会	26
(14) 芦屋建設業組合	28
(15) 兵庫県宅地建物取引業協会	30
(16) 芦屋警察署	32
(17) 芦屋市消防団	34
(18) 芦屋市自主防災会	36
(19) まちづくり防犯グループ連絡協議会	38
(20) 芦屋青年会議所	40
(21) NPO法人 芦屋市国際交流協会	42
(22) 老人クラブ連合会	44
(23) 男女共同参画団体協議会	46
(24) 芦屋観光協会	48
(25) 芦屋神社	50
(26) 芦屋新世会	52
(27) 芦屋プロジェクト2010	54
(28) 芦屋森の会 2001	56

このインタビュー集は、第5次芦屋市総合計画策定に向け、広く意見をお聞きするため、各分野で活躍されている団体の方々を対象に、芦屋市の強みや理想の姿など、芦屋市への思いをインタビュー形式でお伺いし、取りまとめたものです。

インタビューにご協力いただいた皆さま方に感謝申し上げます。

# 1 はじめに

## (1) 目的

第5次芦屋市総合計画の策定に向け、各団体の方々から見た芦屋市のまちの姿や強み、な  
ってほしいまちの姿などに関して、インタビュー形式で意見を集め、計画策定の資料とする  
もの。

## (2) インタビュー団体

分野	団体名	分野	団体名
子育て・教育	1 芦屋市PTA協議会	安全 安心	16 芦屋警察署
	2 芦屋市青少年愛護委員会		17 芦屋市消防団
	3 芦屋市保育推進保護者会協議会		18 芦屋市自主防災会
	4 NPO法人 さんぴいす	地域 活力	19 まちづくり防犯グループ連絡協議会
	5 子育て自主活動グループ ベビ☆パラ		20 芦屋青年会議所
	6 芦屋市人権教育推進協議会		21 NPO法人 芦屋市国際交流協会
福祉・健康	7 芦屋市民生児童委員協議会		22 老人クラブ連合会
	8 芦屋障がい団体連合会		23 男女共同参画団体協議会
	9 芦屋市医師会	24 芦屋観光協会	
	10 芦屋市歯科医師会	25 芦屋神社	
	11 芦屋市薬剤師会	26 芦屋新世会	
	12 NPO法人 芦屋市体育協会	27 芦屋プロジェクト2010	
	13 芦屋市レクリエーションスポーツ協会	28 芦屋森の会2001	
都市 建設	14 芦屋建設業組合		
	15 兵庫県宅地建物取引業協会		(順不同)

## (3) 実施時期

平成30年10月から令和元年6月まで

# 2 団体インタビュー内容

以下の項目を中心にお聞きしました。

- ◆ 現在の芦屋市はどんなまちだと感じていますか。
- ◆ 芦屋市の強み（自慢できる点、満足している点など）は何だと思えますか。
- ◆ 10年、20年後の芦屋は、どんなまちになっていればいいと思えますか。  
また、芦屋の理想の姿を、一言で表すとすれば。
- ◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために必要な取組は何だと思われますか。

各団体のインタビュー結果は次ページ以降をご覧ください。

# 芦屋市 PTA 協議会

会長 池田明子さん, 副会長 鈴木みのりさん, 副会長 山崎万里さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### 住み続けたいくなるまち, 住みやすいまち

メンバーの意見として、「住み続けたいくなるまち」、「住みやすいまち」、「都会すぎず、田舎すぎずバランスよく暮らしやすいまち」などがあります。

芦屋の人は、自分の生活レベルにそれぞれが満足して暮らしている人が多いと思います。もちろん、セレブな方も含めて色々な方がおられますが、どのグループに属しても精神的なしんどさを感じたことは一度もありません。

また、転入されてきたお子さんに対しても受け入れる側が自然にスッと受け入れてくれる土壤があるように思います。

おそらく「まち」がそうなので「人」がそうなるのではないのでしょうか。

### 山, 海, 川と自然に恵まれたまち

自然と都会が共存しており、自然に恵まれているというのは皆さんからよく聞かれる言葉です。

### 人の立ち振る舞いがスマートで、おしゃれでこだわりのお店も多い

皆さんの立ち振る舞いがスマートだと思います。さっぱりしていて、干渉しすぎず、よい距離感を持って付き合えます。

また、色々こだわりのあるお店や家が多かったりしますが、それでいて決して華美ではない。おしゃれと言うのか、大人と言うのか、洗練されたセンスのようなものがあるように思います。

## いろいろと規制が厳しくなっている

最近、規制が厳しくなっていますね。屋外広告物の看板の大きさや色とかの規制です。

例えば、これまで中学校の「トライやるウィーク」をやる際にはのぼりを出していましたが、それまで制限されてしまうとちょっとやりすぎのような気がします。

もちろんある程度、制限することは必要だと思いますが、その線引が難しいところです。あまり規制にとらわれすぎると、逆に住みにくくなってくるかなという思いはあります。

## ◆ 芦屋市の強みは何だと思えますか？

### 鉄道の便利なまち

JR, 阪急, 阪神の駅があり、新快速, 特急停車駅で東に行くのも西に行くのも大変便利です。交通の便がとてもよいというのは芦屋の強みです。

### 市民の意識レベルが高いシャキッとしたまち

市民の皆さんの意識が高いという点は他市に自慢できる点です。ただ、自分も気を抜けないとか、その辺に行くのもきちんとしていないとか、いけないという気持ちになります。

おそらく、そういう気持ちが皆さんの中にある、それらの積み重ねで芦屋はきちんとしたまちという印象を受けるのではないのでしょうか。

### まちが綺麗

とにかく、まちが綺麗です。ゴミがほとんど落ちていません。他都市ではよくゴミが落ちているのを見かけますが、芦屋ではそれがなくて、たまにゴミが落ちているのを見るとすごく衝撃を受けます。

◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていればいいと思いますか？

**若者や高齢者が共に暮らしやすいまち**

丁度、私の子どもが若者になる年齢で、自分たちが高齢者になる年齢なので、「若者や高齢者が共に暮らしやすいまち」になってほしいです。

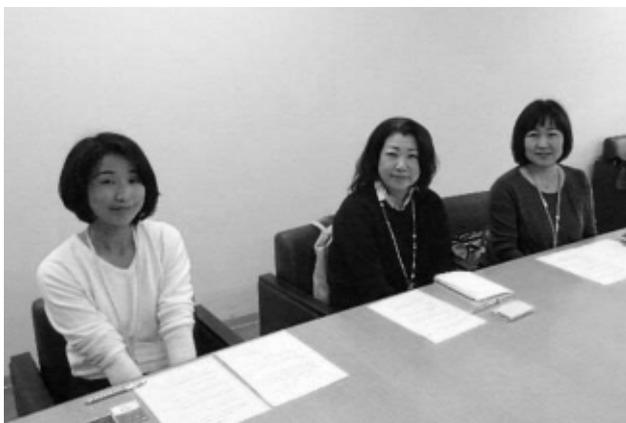
また、「バリアフリー」についても、まちの構造に不備があると、障がいのある方や高齢者の方だけではなく、我々も怪我をした場合など、まちの施設が使いつらくなるので、そういうことが軽減されるようになっていればいいと思います。

**安全で助け合えるまち**

先日、市のある講習会に参加した帰りに、前を歩いていたおばあさんが、横断歩道の真ん中で突然転んだことがありました。

私達も慌てて駆け寄り助け起こそうとしましたが、荷物もあって上手くいかず困っていたら、一人の男性が寄って来てくれて「僕が起こしましょう」と助けてくれました。

幸いその時は大事に至ることはなかったのですが、このような時に皆さんが寄ってきて助けてくれるのはすごく良くて、これからもずっと、こういうまちであって欲しいと思いました。



◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために必要な取組は何だと思いますか？

**市内の主要施設への移動をしやすいにする**

東西の移動は鉄道がありますが、南北の移動がバスしかなく、また、乗り換えも必要な場合があるので少し不便なところがあります。

コミュニティバスの導入など、市内の主要公共施設への移動をしやすいにすることも必要です。どこの地域に住んでいても、主要公共施設が容易に使えるといいです。市内の公共施設が少し南に寄っている感じがしますから。

**子どもや子育て世代が住みやすいまち**

子どもや子育て世代が住みやすいよう医療費や教育環境を整えることはとても重要なことだと思います。

**図書館の充実**

図書館の充実も必要と思います。これから高齢社会になり高齢者も増えるので、一人でふらっと行けて本を読むだけでなく、そこで友達に会ったり集えたりできる場所として図書館利用が進めばいいと思います。

また、子どもの居場所や勉強スペースとしても図書館が利用できればいいと思います。なにしろ「読書のまち芦屋」ですので。

◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

**和 笑顔のあふれるまち**

これは「思いやりのあふれるまち」でもよいと思います。「和」というのはそのような意味も含んでいます。

芦屋の良い部分は「人」です。お互い思いやる気持ちもありますし、人間関係も決してしつこいものではなく、意外とあっさりしているけれど、何かあった時にはしっかりと助け合える関係性のあるまちが良いと思います。

# 芦屋市青少年愛護委員会

会長 入江 祝栄さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### 地域を良くしようという気持ちが高い人が多い

地域を良くしようという気持ちの高い人が多いと思います。他所の子どものこともすごく気に掛けておられるし、学校に対しても、こんな風に良くしていこうということを自然と話される方が多いと思います。

### 狭いけれども地域色がはっきりしているまち

芦屋では山手側とか浜側とかよく言われますが、山手・浜だけでなく、川の東西でも地域性が違うように感じます。

例えば、明治前から賑わっているような土地にお住まいの方は、そこに住んでいる人同士の仲がよく、大正くらいに開拓された新しい土地にお住まいの方は、新しい人でも受け入れてくれるような雰囲気があります。

### 先進的なところと保守的なところのあるまち

主に子ども・子育ての面に関してですが、先進的なところと保守的なところがあるように思います。

先進的な例で言うと、例えば「子ども食堂」。世間でこういったところが問題となれば、すぐに対応されたりします。意識が高い方が多いためか色々な取組が早く、そこに先進的な面を感じます。

一方、保守的な面では「公立学童」。例えば大阪市などであれば、1年から6年まで毎日自由に来なくても、週1回や月1回でもOKですが、芦屋の場合はそうではなく、まだ昭和の匂いがします。また、幼稚園が2年保育だったりするのも今どきではないと思います。

運動会では、家庭の事情で親が来られないご

家庭もあると思います。例えば大阪市では子どもだけを集めて昼食を取らせますが、芦屋市では家族単位で食べさせます。一人ぼっちの子どもがいたらちょっと辛いだらうなと思います。



### 車優先で歩行者に厳しい道路環境が多い

国道などの幹線道路以外の道路は、道幅が狭く歩道がほとんどないようなところが多いと思います。危ないですね。

特に山側は道が狭くて歩行者に厳しい道路環境です。阪急芦屋川駅辺りの川の西側の道路なども狭くて怖いと思います。

## ◆ 芦屋市の強みは何だと思いますか？

### 図書館に最新の本がどんどん入ってくる

毎週のように図書館に行っていたのですが、いつも新しい本があって、必ず読みたい本に出会えます。芦屋の図書館はイチオシです。

### 道路やまちがきれいで、交通の便がいい。

芦屋は道路の舗装がきれいです。ガタガタ道がありません。

また、道路や公園にタバコの吸い殻や犬のフンなどもあまり落ちていません。きっと近所の皆さんやボランティアさんが掃除をされてい

るのだと思いますが、全体的にまちをきれいにしようという市民意識が高いまちだと感じます。

また、市内に阪急、J R、阪神の3本の鉄道が走っているので非常に便利です。

### ボランティア精神の高い人が多い

地域やPTAの方々などが、自分の子どもだけでなく知らない子どもでも垣根なしに見守ってあげたりしています。

### 山と海があって自然と親しめる

身近に自然があることは芦屋の強みだと思います。芦屋川にも自然が残っており、以前は川上の方に飛び込みのできる天然のプールがありました。都会なのに川で泳げるなんてすごいことですね。また、海にもいい釣り場があります。

## ◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていればいいと思いますか？

### 子どものしたい遊びができる場所のあるまち

例えば、子どもがボール遊びをしたいといっても、今の公園では花壇を壊すからやめてほしいとか言われるようなこともあるようです。

このような禁止事項が最近増えてきているので、子どもが自由に遊べる場所のあるまちになって欲しいと思います。

### 人のために出し惜しみしない人の多いまち

良い意見を持っている人、人のためにできることを出し惜しみしない人の意見が前に出てくるまちになって欲しいと思います。例えばPTAの任期が終わると、その人の意見が埋もれてしまうような場合があります。また、共働きの方も多くて意見を出す場がないようにも感じます。

私は、こういう方の意見がもっと反映できたらいいなと思います。

## ◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために必要な取組は何だと思いますか？

### まずは福祉、教育の充実

公立の学校なのに体操服とかが高い。経済力の低い家庭の子どもでも、不自由なく不安なく享受できるようになって欲しいです。

### 社会を頼ることができるまち

お金持ちの家庭でもネグレクトなどの問題もあるので、子どもが社会に対して不信感を持つことのないまち、社会を頼ることのできるまちになって欲しいと思います。

また、問題のありそうな子どものことを、周りの大人たちは結構気にかけているので、その人たちが信頼してすぐ相談できるような窓口や、関係団体がすぐに連携できる体制が整っていればいいと思います。

## ◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

### 成熟したまち 大人のまち

「成熟したまち」とは、社会で子どもを育てるみたいなイメージです。なぜ他所の子どもにまで税金を払わないといけないのかといった考え方ではなく、大人として、自分のことばかりでなく、皆がお互いのことを考えていくようなまちが理想だと思います。

# 芦屋市保育推進保護者会協議会

会長 村田さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### 結婚を期に、芦屋に引っ越ししてきました

私は、結婚を期に芦屋に引っ越ししてきました。それまで神戸などへはよく遊びに行っていたものの、芦屋は遊びに行くようなまちではないので、あまり来る機会はありませんでした。

結婚をして、どこに住もうかとなった時にたまたま芦屋が候補に上がってきたという感じでした。芦屋は便利だという反面、子育て世代には住宅が高いというイメージがありました。

### 交通の便がよく、静かで落ち着いているまち

実際、住んでみると、芦屋は大阪や神戸などの都市部に近くて便利なまちだと思います。大都市のように賑やかすぎず、静かに落ち着いて生活できるのがいいと思います。まち自体もすごくきれいです。

### 身近な自然を感じられるまち

子育てという面から言うと、芦屋は公園や遊び場も多く、海があったり、芦屋川でちょっと遊べたり、身近な自然を感じられる良いまちだと思います。ただ、山に行くには少し遠いので、もう少し自然の緑と触れ合える場所が近くにあればいいなあと思います。

以前に保育園の繋がりや、西宮で貸し農園をされている方がいたので、畑を借りて少しやってみたことがあります。場所が遠かったのも、徒歩とは言わなくてもせめて自転車で行ける圏内にそういうものがあればいいと思います。

### 保育所・幼稚園・学童も、芦屋市がやっているのに満足していたのだけれども…

芦屋のお母さんたちは、保育所にしても幼稚園にしても学童にしても、芦屋市がやっている点を信頼していたと思います。

しかし、それを民間に…という方向なので、お母さんたちの中には「不安だ」とか「もっと自分たちの声を聞いて欲しい」という意見を聞くことがよくあります。

これからの少子化という流れを考えると、大きな施設を作るのではなく、今ある幼稚園等も含めて、既存施設を活用した方がいいのではないかと思います。送迎も含めて、家に近い場所で子どもが通える施設の方が安心できるのではないのでしょうか。

せっかく芦屋市がこれまで培ってきた子育て支援の良い面だと思うので、是非続けて欲しかったという気持ちは持っています。

## ◆ 芦屋市の強みは何だと思いますか？

### 学校給食がしっかりしている

上の子が小学校に行っているのですが、小学校の給食が手作りにこだわって作っていただいております。それはすごく嬉しい点です。これから中学校も給食が始まるということですし、食育の観点からも大変ありがたいことだと思っています。

子どもと給食メニューや献立表の話をよくしています。また、保育所でも毎日サンプルを置いてくれているので、子どもが「今日はこれが美味しかったから家でも作って…」と言ってきたりしますし、私も給食メニューを参考にすることもあります。

◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていればいいと思いますか？

色々な年代の方と交流できる場が欲しい

今、マンションに住んでおり、人間関係は子どもを通したママ友が中心になりますが、もう少し地域の方とかいろいろな年代の方と交流する場があればいいと思います

例えば打出商店街とかでも、個人の商店さんとか、身近なお店がもう少し活発になればいいなと思います。歩いて行ける圏内に元気なお店ができるといいですね。

今は自治会にも加入していませんが、もう少し時間の余裕もできればそのような地域の活動にも参加してみたいと思います。

市内のイベント等の情報は、市の広報で知ることが多い

市内のイベント等の情報は、学校や市役所からのチラシや広報で見たりします。

そういうイベント等への参加は、他の人と交流できる機会になるので、福祉センターや図書館などで、もっといろいろとやっていただければありがたいと思います。

最近、宮塚公園でもよくイベントがあつたりしていますね。保育所で配られているチラシで見ることが多いです。

◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために必要な取組は何だと思いますか？

子育てを通して交流が深まればいい

保育所でも幼稚園でも、子どもと歩いて通える距離で預かってもらえ、地域の方も含めて、子育てを通して交流は深まるまちであればいいと思います。

安心できるまち

治安的な面では、芦屋市はすごく安心できるまちだと思います。

たまに不審者情報が来たりすることもあります。その時に芦屋でもそのようなことがあるんだなあと感じる程度で、全体的に治安に対しては安心しています。ここは芦屋市の魅力と言っている面だと思います。

◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

都会だけれど、  
自然の中で子どもが成長できるまち

都会なので、意識しないと子どもが自然と触れ合う機会をつくるのが難しいと感じています。

個人的には農業に関心があり、小学校の給食では県内産の野菜を中心に使ったりされているようなので、市内では無理でも収穫体験や生産農家さんと交流する機会などが増えればいいなと思います。

この交流というところから、私は人とのつながりが深まっていくのではないかと感じています。

# NPO法人 さんぴいす

理事長 河口紅さん, 事務局長 大脇巧己さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

**他市に比べ、きれいな、落ち着いたまちで、良い意味でこだわりを持った人が多い**

他市に比べ、きれいな、落ち着いたまちという印象です。市民意識が高いことが、きれいなまちの保全につながっていると思います。

市民活動をしている人も、信念を持ち、自分の考えをもって行動されている方が多く、良い意味でこだわりを持った人が多いと感じています。

## ◆ 本当の芦屋らしさは何かと言われると難しい

芦屋という名前やブランドは知られていますが、中心となる場所がなく、芦屋ならここにいけばいいというところがないように思います。

本当の芦屋ってどんなまちと言われても、これといった特徴がなく、本当の意味での芦屋らしさは何かというのは正直難しいと感じています。

しかし、芦屋の中にある本物を突き詰めると、ガラパゴス諸島のように、逆に魅力になるかもしれません。中途半端に他都市を真似るのではなく、例えば、芦屋の小学生は全員茶道でおもてなしができるなど、特徴を持たせることができるまちなのではないかと感じています。

## ◆ 芦屋の中でも地域毎の課題がたくさんある

外から見た「芦屋」のイメージが先行し、憧れはあっても敷居が高く、気軽に訪れにくいと思われているのではないのでしょうか。同じ市内でもここ 5~10 年で南北の地域差は大きくなり、多様化、複雑化が進むなど、地域ごとの課題は全然違います。ごく一部の芦屋のイメージが広がり過ぎているように思います。

## ◆ 芦屋市の強みは何だと思えますか？

**強みはたくさんあるが、上手く打ち出せていない**

街並みがきれい、自然が豊か、おしゃれな店が多い、美味しいものがあるなど、統一した強みでなくても、強みはいくつあってもいいと思います。しかし、強みを上手く打ち出せているかということではなく、一部の強みだけが全国に発信されているのが残念です。

芦屋には様々な活動をしている人がいて、皆一生懸命なのに、バラバラでネットワークができていないことが強みとして発信できない一つの理由だと思います。いい意味で、思想的、経済的に自立している人が多いので、手をつながなくても何でもできてしまうのでしょうか。

しかし、それでその活動が市全体に広がるかということでもなく、単発的であったり、リーダーがいなくなると継続性がなくなったりすることも少なくありません。このネットワークづくりはなかなか難しい問題だと思います。



◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちに  
なっていればいいと思いますか？

**それぞれの居場所があり、  
住んでいる人が美しいまち**

居場所がなくなるとまちに魅力はなくなります。自分の経験が活かせる場所、役割がなくてもいられる場所があれば、居心地が良くなるので、大人から子どもまで、それぞれの居場所があればいいと思います。

まちづくりは人づくりでしかあり得ません。美しいまちを目指すなら、美しい人をつくらないと、そういうまちにはなりません。学校教育も含めて教育を考えていくことが、芦屋の特徴出しにつながるのではないのでしょうか。

きれいなまちというだけでは特徴になりませんが、そこに住んでいる人が美しいことが芦屋の特徴になると思います。

◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために  
必要な取組は何だと思えますか？

**市民と行政が協調しながら互いに汗をかく**

行政と事業者の関係性がきちんと築かれていないと、どちらか一方だけが頑張っても本当の意味でのまちづくりとは言えません。

基本的なことですが、市民の声を聴き、それを実現するために行政が汗をかく、行政ができないところは市民が汗をかく、両者の協調性が重要だと思います。

**子育て世帯が住みよいと感じる制度や  
仕組みを作る**

幼稚園統合問題は、市民の意見を聞かずに勝手に進んでしまっているように思いますが、今のようなやり方を続けていると市民が行政を信頼しなくなり、市民は勝手に動き出すことになりかねません。他の地域と違い、勝手にできる経済力と人脈があるので、余計に関係がギクシャクする可能性があると思います。

**市民と市との良好な関係づくり**

他市と同様に、芦屋市でも市外在住職員が増えつつありますが、一番の優良企業が市役所であるような市町の場合、市職員が市民と行政の両方の立場であるので、市民と一緒に考えることができます。

市内在住職員比率を増やすまで行かなくても、長年お住まいの市民の意見を聴く機会を設けるなど、何かで補い、市のことを理解している行政職員と市民との良好な関係づくりが重要だと思います。

**人口減少社会の中で、  
まちづくりの方向性を考える必要**

わかりやすさや外部への波及効果からすると、市の中心部がある方がいいと思いますが、市民がそれを求めているかという点、そうでもないのかもしれないかもしれません。今後、人口が減少していく中で、芦屋の未来を考える時、市がどちらの方向に舵を切って計画を立てるので将来の方向性が変わると思います。

◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

「**お金持ちのまち（経済的富裕層）の  
イメージから、心豊かな人が集う  
（精神的な富裕層）ことが  
新たな芦屋ブランドとなること**」

ジェントルマンは1日にしてならずで、学力だけではなく、豊かな心を育む場が必要です。

# 子育て自主活動グループ ベビ☆パラ

田部さん、松井さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### 清潔で治安が良く、行政サービスの整ったまち

いろいろなまちに住んできましたが、他市に比べ、ダントツに清潔で、まち並みが綺麗で、治安がよく、行政サービスの整ったまちだと感じます。

また、芦屋は緑や公園など自然が多いので、子育てにも良いまちだと思います。

### 人が優しいまち

年配の方が子どもたちに優しく声をかけてくれるなど、人が優しいまちで、芦屋市にいるとホッとします。心に余裕があるから、人に優しくできるのではないのでしょうか。

引っ越して来る前は、セレブリティなまちだと思っていましたが、気さくで優しい人が多いように思います。



## ◆ 芦屋市の強みは何だと思いますか？

### 並木道や公園の整備が行きとどいている

並木道など植栽が手入れされており、台風の後でも綺麗に整備されています。子どもが安心して遊ぶ、トイレも綺麗な公園が多く、安全です。

### 教育環境が充実しているなど 子育て世代にメリットがある

幼稚園や小学校の先生の研修もしっかりしており、子どもの将来を見通した指導計画を立てられているなど、教育環境が充実していると思います。

また、中学校3年生まで医療費無料というのも、子育て世代には大きなメリットだと感じます。

## ◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていけばいいと思いますか？

### わざわざ訪れたいくなる活気のあるまち

大阪や神戸からのアクセスが便利で、JR芦屋駅に新快速が止まるのにも関わらず、ビジネスマンの通勤利用が主で、休日になると街から人がいなくなります。

他県や他国の人が芦屋にわざわざ足を運ぶような店や文化施設があれば、まちがもっと盛り上がり、活気がでるのではと思います。

## ◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために 必要な取組は何だと思いますか？

### 目的に応じた魅力ある情報発信を

子育て世代とアクティブシニア世代の交流によって、みんなが安全で安心できる地になってほしいと思います。その要素は充分にあるので、宣伝方法、広報の工夫が必要になります。

市の配布物やチラシなどを見ても、誰に対して何を訴えているのかわからないことが多いと感じます。せっかく良いことが書いてあるの

に、市民が手に取るデザインになっていないのはもったいないのではないのでしょうか。チラシやポスターのデザインによって、市民の反響は大きく変わるので、世代や目的に応じた工夫が必要です。

### 市民目線で利用しやすい施設や参加しやすいイベントに

公民館などの公共施設も決まり事が細かく決められており、利用する人にとっては使いにくいことも多いので、本当に使ってほしいと思っているのかわからないように感じる場合があります。

また、市民映画祭などでも、未就園児お断りのものがありますが、市民のための映画祭であるので、子どもが参加できないようにするのであれば、子どもが参加できる映画祭も作るべきではないのでしょうか。子どもにも文化に触れる機会が必要だと思います。

### 地域や多世代との交流が必要なことも

マンションの餅つき大会を止めようとした時に、猛反対した高齢者がいて、続けることになりました。準備の大変さや餅つきのやり方等のノウハウは実際にやってみないとわからないし、やってみると案外楽しいこともあったので、大変だからと頭から拒絶するのではなく、とりあえず体験してみるという大切さを教わりました。そういった高齢者と伝統行事を受け継ぐために交流が必要であるなど実感しました。

## ◆ 子育て自主活動グループをやってみて

### 未就園児の居場所が必要

2年間この活動を行ってきましたが、働くお母さん方も増え、3歳児から保育所や幼稚園に入所するケースも多く、自主活動グループの必要性が低くなってきているように感じます。

しかし、こういう場にしか出てこない人も多くいると思うので、2歳くらいまでの子どもの

受け皿として、自主活動グループなどの機会が必要だと思っています。

## ◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

### 西の『自由が丘』になって欲しい

自由が丘は、交通の便が良く、住みよい住宅街もあり、知名度が高く、魅力的な店も多くあり、イメージが良いまちです。

市の名前は知られており、芦屋市も同じような位置にあると思いますが、これというものが残念です。

若い世代の転入も多いですが、出ていく人も多いので、若い世代がずっと暮らせる安心、安定したまちがつづいていければいいと思います。

# 芦屋市人権教育推進協議会

会長 清水 章子さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？



### 美しいまち芦屋

私は「美しいまち芦屋」を感じながら生活しています。自然の景色を大切にされたまちの風景は、心をいつも和ませてくれています。外出先から芦屋に帰るとほっとした気持ちになりますが、これはこの地で生活している市民にはとても大切なことと思います。

私は芦屋市の西蔵町で生まれました。昔は近くに海があったので、幼い頃、家で水着に着替えそのまま海に遊びに行きました。その楽しかった体験から海がとても好きで、海の匂いがするとその時のことを思い出します。



### 由緒ある神社が残るまち

今は岩園町に住んでいますが、近くには伊勢神宮にも由緒がある岩園天神社があります。芦屋にはこういった神社が岩園天神社を含め、6つもあります。歴史をご存知ない方もおられるので、地域の歴史を学ぶ「歴史探索会」というグループを老人会で立ち上げ、活動に取り組んでいます。

神社はコミュニティを大切にしています。神社を核にしたコミュニティづくりというもので、季節毎の神社の様々な行事を通じて、地域の人と出会い、一緒に語り合っ、神社に親んでもらえるような雰囲気づくりをしたいと考えています。



### 地域によりコミュニティ意識に違いがある

西蔵町に住んでいた時は、いわゆる向こう三軒両隣という密な近所付き合いが当たり前のような地域でした。その一方、岩園町の場合は仲池など緑が多く静かで素敵なおところですが、

隣人同士の関わり合いが少ないような気もします。もちろん岩園町の自治会、地域の民生委員などは、お互いに支え合えるコミュニティづくりを進めています。いずれにしても地域によってコミュニティに対する意識に違いがありますが、ともに明るいまちづくりのために、協力ができれば良いと感じます。

## ◆ 芦屋市の強みは何だと思えますか？



### 芦屋に暮らしていることに幸せや喜びを感じる

美しいまち芦屋というブランドは、市民の心の中にあり、他市に出向いた時に街の景観やみどり豊かな芦屋に暮らしているということに、幸せを感じる時があります。美しい・綺麗というキーワードは市長がずっと言われていたことですが、市民の気持ちや思いがその言葉と繋がって、美しいまち芦屋という雰囲気がゆっくりと広がり、深まりを見せてきたのではないかと思います。

芦屋市には公園の数も多く、それぞれに特色があります。岩ヶ平公園の桜も綺麗ですし、芦屋霊園の桜も素敵です。それぞれの公園を大事にしていくことが必要だと思います。



### 芦屋というブランドの存在

芦屋人権協の関係で阪神7市1町に出かけることも多いのですが、「芦屋に住んでいます」と言うと皆さんがいいなあと言われます。他市の良いところも多くありますが、やはり芦屋というブランドは皆さんの心の中に響いているものなのだという気がします。

◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちに  
なっていればいいと思いますか？

**豊かな自然を大切にしたい、落ち着いたまち、治安のいいまち**

豊かな自然を大切にしたい落ち着いた芦屋のまちづくりを今後も継続していただければ嬉しいです。一人ひとりの心に残るまちの雰囲気は、見えるところも見えないところも、親しみが溢れていると感じます。

また、安心して安全に暮らしていくという意味では、空き巣が多く気になる地域もあります。地域でもパトロール活動を進めています。今後も、安心して生活していけるように、警察などと連携を強化し、近所でお互いに声をかけあえるような地域社会になればいいと考えます。

**多様な方が共に暮らせるまち**

また、まちが美しいだけでなく、芦屋市民一人ひとりの心に響く言葉も大切です。多様な生き方を尊重し、障がいのある人、高齢者、外国人など、共に生きていくという気持ちや配慮などに重点を置くことが必要です。共に、みんなと一緒に生きていくという視点を持つことです。

今後、先のことではなくもっと早い時期に「美しいまち芦屋・人権を尊重するまち芦屋」となるように考えていくべきだと思います。

◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために  
必要な取組は何だと思いますか？

**互い助け合える関係性の構築**

近隣のコミュニティを大切にしたい、年齢や性別に関係なくお互いに協力や支援をしていけるような関係性を構築していくことが、充実したまちづくりにつながると思います。そのような場づくりを行い、お互いに意見を出し合えるような雰囲気をつくっていくことができればいいと考えます。

**人権の取組を幼児の段階から学び、考えること**

やはり幼児期の段階から人権に係る教育がすごく大切なことだと考えています。

例えば、障がいのある子どもさんに対する接し方も、親や教員の子どもに対する言葉1つで随分と変わってきます。

相手を思いやる教員の言葉がけや、家に帰ってからの保護者の言葉で、子どもの心に変化が生まれます。また、幼児は人とのかかわりの中で成長することなどを考えると、世代を超えた地域の人々との交流がとても大切だと思います。

人権問題を自らの課題にするために、人権教育の充実を検討していく様々な取組が、一人ひとりの心やそれぞれの生き方をより深めていくことに繋がるのではないのでしょうか。

◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

芦屋はこころのオアシス！  
美しさ、優しさと共に生きる！

他市に出かけた時に、早く芦屋に帰りたいなという思いは、やはり心の中で芦屋を好きだという思いと、芦屋に帰ったら安らぐという意味で「オアシス」という言葉を使いました。

芦屋は緑が多く自然が豊かで、見るもの全てを含め、落ち着く場所であり、よい時間を過ごせる場所であるということが「こころのオアシス」につながり、それは人に対する優しさが芦屋にはあるのではないかといつも思います。

# 芦屋市民生児童委員協議会

会長 岡本直子さん, 副会長 田中航次さん, 副会長 東郷明子さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### 住みやすい, 落ち着いたまち

気候が温和で, 自然災害が少なく, 自然環境に恵まれていて (六甲山~芦屋浜), 自然環境においては抜群の土地柄で, 落ち着いた住みやすいまちです。

### 買い物や観光に便利だが, 高齢者が住みにくい地域も

立地面でも大阪, 神戸に近く, 京都・奈良へも日帰りで遊びにいける距離にあり, 買い物・観光面で便利なまちだと思います。

しかし, 阪急よりも北の地域は, 坂が多く, 高齢者が住みにくい環境になってきているため, 買い物や交通の便などが気になります。このままでは, 過疎化してしまいます可能性もあります。

### 中規模の都市で目配りが効くまち

中規模都市であり, 行政の手も細かいところまで届きやすいまちです。

また, いろいろな面において住民の層が比較的一定であり, 住む上で要らない気遣いをすることが少ないまちです。



### 無電柱化で景観等が改善

市が無電柱化を進めていますが, 完了している山手幹線や川西線の沿線は, 景観面や通行安全面から大変良くなってきたと感じています。

### 道路のバリアフリー化が不十分

ハード面での道路整備が少し遅れているように思います。国道2号や山手幹線はきれいに整備されていますが, 生活道路は歩道幅員や路面状態がよくなく, バリアフリー化がまだ進んでいません。

特に山の手の方の旧市街地の状態がよくないと思います。

### 自転車の運転マナーがよくない

高齢者と自転車の事故が増えています。自転車の運転マナーが悪く, 歩道上を走ったり, 逆走したりして, 歩行者が危険を感じる箇所が多々あります。

### 人間関係づくりのしやすさで地域差がある

芦屋市ではマンションが増えてきています。戸建ての多い旧市街地などは, 昔から住んでいる人が多いのでお互いの顔が見えており, 民生児童委員活動もスムーズですが, 浜側の地域や山手の一部地域のような新しいマンションや集合住宅の多い地域では, 訪問相手の顔が見えにくく, 民生児童委員として関係づくりが難しい面があると感じています。

---

## ◆ 芦屋市の強みは何だと思いますか？

---

### 自然と共存している土地柄

都市部にありながら、自然とも共存している土地柄が芦屋市の強みだと思っています。環境に配慮している点です。

### いろいろな取組をしやすいまち

他の都市と違い狭い土地柄なので、いろいろな取組において実施しやすいというメリットがあるのではないかと考えています。

### 市民の人柄がいい

市民が比較的穏やかで、住宅地やまちなかでも市民同士のトラブルが少ないように思います。

また、他都市から移り住んだ人たちにも閉鎖的な感じを与えないまちだと思います。

---

## ◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていけばいいと思いますか？

---

### バリアフリー化が進んだまち

ハード面で、道路整備（無電柱化含む）により、バリアフリー化が進んでいるまちになってほしいと思います。

### 助け合いのできるまち

地域の中で、お互いの顔の見える状況で、助け合いができるようになってほしいと思います。また、10年、20年後にはさらに高齢社会になっていることを想定し、介護問題等が解消されていることも大切だと思います。

### 仕事と家庭の両立ができるまち

待機児童がなく、お母さん方が安心して仕事と家庭の両立ができるまちになってほしいと思います。

### 住民の一定の距離感が保たれたまち

芦屋の人が望む人間関係は、あまり密な人間関係ではなく、一定の距離感を持ちながら、プライバシーも守られ、顔も見える関係（精神的なつながり）ではないかと思っています。まさに、都会の中の田舎で、これからもそういうまちであってほしいと思います。

### 活気のあるまち

若い世代の住民が増え、穏やかな雰囲気を保ちながらも活気にあふれるまちになってほしいと思います。

---

## ◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために必要な取組は何だと思いますか？

---

### いろいろな取組が考えられます

魅力的なまちに向けて、いろいろな取組が考えられますが、私たちは次のような取組が重要と考えています。

- ・ 緊急時、災害時への対応（南海トラフ等）
- ・ バリアフリー化の推進
- ・ 待機児童（保育園・小学校の学童保育）の解消
- ・ 幼児教育機関の充実
- ・ 子育て支援、学校教育の充実
- ・ 高齢者に対する施策（介護保険等）
- ・ 障害者に対する施策（親亡き後のグループホーム）等の整備
- ・ 自然環境の整備
- ・ JR駅前通りの活性化
- ・ きめ細かな交通網の整備

---

## ◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

---

- ・ すべての住民が安心して暮らせるまち 芦屋
- ・ 開かれたまち
- ・ 都会の中の田舎

# 芦屋市障がい団体連合会

芦屋家族会 会長 齋藤 登さん

芦屋市身体障害児者父母の会 会長 木村 嘉孝さん

芦屋市身体障害者福祉協会 副会長 杉田 俱子さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### 景観、自然、公園に恵まれた美しいコンパクトなまち

芦屋市は山あり海ありで、風光明媚でコンパクトなまちだと思います。

### まちづくりに対する市民の意識が二極化している

人々の心は割と地域社会に無関心で、その意味では冷たく感じる場合があります。

地域においては、地域おこしで頑張っている人とベッタウンとして住んでいる人と二極化しているようにも感じます。

### 肢体不自由児が特別支援学校に通えるように

障がい児教育の面で言うと、芦屋市では身体障害者手帳だけを持つ肢体不自由児の子どもは、義務教育を終えると市内に特別支援学校がない(知的障がい児の学校は市内にある)ため、受け入れてもらえる学校がありません。近隣の神戸市や西宮市に肢体不自由児の特別支援学校はありますが、いずれも市立の学校なので芦屋市の子どもは受け入れてもらえません。

制度上の仕組みがこのようになっているので仕方ありませんが、行政区界を越えて近隣の特別支援学校に行けるなどのような配慮が可能になることを願っています。

### 横断歩道に音声信号の設置が必要

芦屋市ではバリアフリー化は一定進んできましたが、視覚障がいのある人への配慮が一部出来ていないと感じています。それは横断歩道への音声信号の設置です。整備は市の管轄では

ないと思いますが、市内で信号不備のために視覚障がいのある人が事故に巻き込まれるようになっては困ります。

## ◆ 芦屋市の強みは何だと思えますか？

### コンパクトで規模的に効率のよい都市

芦屋市はコンパクトで、規模的に効率のよい都市です。心的(精神)障がいのある人にも適切に福祉サービスが提供されるよう、行政主導で情報通信技術(ICT)を有効活用し、福祉サービス事業者への支援を強化して、Efficiency(効率)とEffectiveness(効果)の更なる向上を期待したいと思います。



### 芦屋市ではハード面の整備は一定出来ているので、ソフト面の充実を

芦屋市はハード面での整備はある程度出来ていると思いますので、次はソフト面の充実を図ってほしいと思います。

例えば、作品展等のイベントを開催する場合であっても、より多くの人が集まるように行政に支援をしていただきたいと思います。また、企画や集客で行政に色々と提案しても、ルールや規則

があるからといってなかなか採用してもらえない場合があります、柔軟な制度運用を期待したいと思います。

◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていけばいいと思いますか？

**困った人に人々が手をさしのべるようなまち**

「障がい」ということを特に意識せずに、日常生活の中で暮らしていけるまちであること。そのためには、社会インフラ、市民の心の暖かさ等が充実し、困ったことや人があれば自然に人々が手をさしのべるようなまちになればいいと思います。

**みんなが集まれるまち、季節の移ろいを感じられる美しい景観のあるまち**

公園を中心に、年齢にかかわらず不特定多数が集まれる企画があったり、なかよしベンチなどが継続的に取り組まれ、みんなが集まれるようなまちになるといいと思います。

また、外出しようという気が起きるような環境づくりと季節の移ろいを感じられるなど美しい景観があることが重要だと思います。

**福祉サービスの需給マッチングにICTの活用を**

相談事業でもそうですが、今の福祉サービスの仕組みは非常に無駄が多いと感じています。福祉サービスは、どんなサービスをどういう人に届けるかが重要であり、そこでキーになるのがマッチングです。情報化社会が進展する現在、このマッチングにICTが活用できる場面は増えてきていると思います。

◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために必要な取組は何だと思いますか？

**芦屋市は企画・リソースマッチングに取り組む**

芦屋市は、市内最大の事業体であり、政策のシンクタンクであることから、芦屋市は福祉サ

ービスの企画、リソースマッチング等を担い、実行は福祉サービス提供事業者がやるように役割分担を進め、効率的、効果的な取組を進めて欲しいと思います。

**若者の仕事場を増やすこと**

若者の仕事場を増やすことが重要です。これからの若者が市内で新しい仕事に就けるようになって欲しいと思います。

芦屋市は神戸にも近いし、大阪にもすぐに出ることができますが、この芦屋市内に就労できる仕事場があってこそ、芦屋市の生活が完結することになると思います。生活のための箱物だけの整備はダメだと思います。

**制度運用に当たっては、柔軟な対応を望みます**

困った人が市役所のどこかの窓口で相談に行ったら、関係各課が密に連携し、困った人に対して最適な支援がなされるようなやさしいまちになって欲しいと思います。

また、各種制度の運用に当たっては、柔軟な対応をしていただき、制度の谷間で困る人が決して出ないように配慮して欲しいです。

**芦屋市は積極的に情報発信し、行政の取組を「見える化」することで市民理解を深めること**

芦屋市はどんどん情報を市民に提供し、市民を巻き込むようにしていただきたいです。

市職員も色々と頑張っていると思いますが、ほとんどの市民はその姿を直接見る機会がありません。市職員の方がまちづくりに熱く取り組んでいるその行動プロセスや成果を「見える化」してください。情報発信は、市民理解を深める上で不可欠なことではないでしょうか。

◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

「気候温暖、自然に恵まれた住みやすいまち、本当に知的に洗練された人々が暖かい心でお互いを大切にするまち」

# 芦屋市医師会

副会長 安住吉弘さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### 核家族化が進み、老老介護や独居老人が増加

親世代が一人で住んでいて、子どもは遠くにあるいは近くでも別に居を構えていて親の所にはそう帰ってこないため、老老介護や独居老人の世帯が増えています。

また、思うような施設が市内でどうしても見つからないので、市外・遠方に出ていく人もいて、芦屋市内で健康な生活を続ける上でのハードルが高くなっています。

### 空き家とマンションが増えて地域イメージが変化

親が亡くなったり出て行ったりした後、空き家になったままの家が多くみられます。また大きめの邸宅が更地になるとマンションが建ち、様々な人が移り住んでくるので、地域の雰囲気が変わったねと言っている周辺住民の声も聞きます。

周辺住民の声も聴かず、強引な建て方をしてるマンションもあります。

### 健康寿命を延ばすには課題が多い

豊かな老後を送るためには、健康寿命を延ばすことが大事ですが、忙しく働いてきた結果、健康寿命を損ねてしまっている人が多く、高齢になる前のある程度勝負がついているといえます。

それに対して特定健診等の対応はしていますが、効果が大きく上がっているわけではありません。

## ◆ 芦屋市の強みは何だと思えますか？

### 良好で便利な住環境と治安の良さ、品の良い住民

芦屋市は、良好な住環境にありながら大阪や神戸といった大都市へのアクセスがよく、治安もよいまちであり、住民の品が良いと思います。

芦屋のブランドがまだ生きており、そのような芦屋市民の来院を期待して、市外他地域の基幹病院から芦屋市の医療機関への連携を求め声が多くなっています。

## ◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていれればいいと思えますか？

### 前向きに取り組み、他市に見習われるようなまち

医療や健康・介護に対する制度が充実し、サポートも万全で、他市が規範とする様な環境が形成され、常に前向きに向上を目指している自治体であれば良いと思います。芦屋がやっているあの制度はいいね、今度我々のまちでもやってみようか、という声が自治体同士の間で聞かれたら素晴らしいですね。

しかしながら、現在はよそに対して芦屋が優位に立つというよりは、よその取組の評判が良いから芦屋でもやっておこうという少し遅れた感じを受けています。

◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために  
必要な取組は何だと思えますか？

失敗を恐れずに、  
先進的な医療政策に取り組むこと

近隣の市区の医療政策や助成制度などの良いところは遅滞なく取り入れ、遠方自治体でも先進的な取組を行っているところの制度で、住民・周囲の評価が高い物があれば導入を試みる等の前向きな姿勢がなければ、他の都市に比べて芦屋市が魅力的である優位性はなくなっていく一方だと思えます。

やってみて失敗も成功もあるでしょうが、やらないと遅れをとるので先にやるのは良いことだと思えます。

◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

「 住みよい町，魅力的な町として  
転入を望む人たちが常にあり，  
善良な人ほど芦屋への指向がより高く，  
芦屋市もそれに応えるべく  
医療・介護に最大限の努力を払うこと」

# 芦屋市歯科医師会

藤本歯科医院 院長 藤本俊雄さん、関本矯正歯科 院長 関本真由さん

芦屋市歯科医師会 専務理事 藤田顕治さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### 高齢の方が多い印象

J R 芦屋駅前で歯科医院を開業していますが、高齢の患者さんが多く、まちの中を歩いても高齢の方が多く印象があります。また、介護事業所も増えており往診の依頼が多いように感じます。

### 健康意識が高い

高齢者の健康意識は高く、健康づくりに対する個人の取組が活発なまちだとも感じています。

また、子どもの歯の健康状態は虫歯も少なくいい方です。親御さんの健康意識が高いことも関係しているのでしょうか。これは、統計資料にも現れており、1歳6ヶ月と3歳児の歯科健診でのう歯罹患率は全国的にも最下位に近い順位となっています。

### 子どもの数は多いが、子育て支援サービスが十分でない面も

少子化と言われていますが、芦屋に住んでいる子どもの数は多いと感じます。子どもの遊べる場所もたくさん整備されているので、過ごしやすい環境にあります。

しかし、隣の神戸市や西宮市と比べると、芦屋市の子育て支援サービスはまだ十分でなく、特に保育サービスは弱いと思います。

### 治安がよく、親切な方が多い

不審者が少ないので、ちょっと暗くなって子どもたちが外にいても不安になることは少ないように感じます。

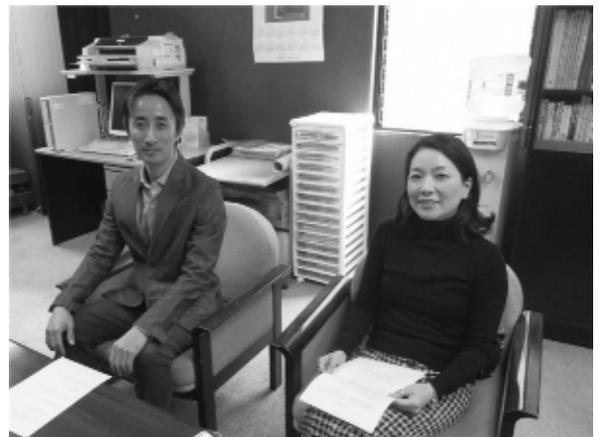
芦屋には親切な人も多いと思います。私は芦屋市を一度離れてから芦屋に戻ってきましたが、その経験から言うと、芦屋の人は子ども連れや高齢者の方に大変親切で、良識のある人が多いと思います。

### 芦屋は教育に熱心な人も多いが、バラツキも

周辺都市に比べると、芦屋の方は教育熱心です。ただ、市全体では、格差とは言わないもののバラツキがあり、均一な感じはしません。また、習い事をしている子どもも多く、月曜～土曜まで毎日習い事をしている子どももいます。子どもにとってはあまり遊べる時間がとれない環境もあるということでしょう。

### 屋外広告物条例によりまちがスッキリしました

芦屋市屋外広告物条例の施行、については賛否両論があったようですが、条例が施行されて、まちなみがスッキリしたように感じています。



## ◆ 芦屋市の強みは何だと思えますか？

### 自然に恵まれている

市外から芦屋市に転入してきた人に芦屋市の印象を聞くと、山と海に近く、自然に恵まれているとよく言われます。芦屋市へ転入される方は、関東地方からの方が多いのかもしれません。関東は平野で山と海から離れている地域が多いので、その分、芦屋に転入されると山や海といった自然の近さに驚かれるのかもしれませんがね。

### 健康な方が多い分、横のつながりが弱く、将来が心配

高齢の方でも健康な人が多い印象ですが、ひとり暮らしの高齢者も増えているのではないのでしょうか。

意識の高い方が多い芦屋市ですが、その反面、個人主義的な面もあることから、横のつながりが弱いように思います。あまり人と関わらない方もおられると思いますので、高齢化で、ひとり暮らし高齢者の方が増えていくと、今後、どうなるのかと心配になることもあります。

## ◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていればいいと思えますか？

### 子育て支援が充実し、高齢者が暮らしやすいまち

まず、子育て支援面を頑張ってほしいと思います。また、高齢者も増加していくので、高齢者が暮らしやすいまちにするのも重要な視点だと思います。

### 芦屋としての「オンリーワン」があればいい

芦屋市としての「オンリーワン」が必要です。例えば、スポーツ面で日本一になるとか、将棋などのゲーム面（EX. 加古川市）で「オンリーワン」のまちを目指すのはどうでしょう。

芦屋には、おいしいスイーツやパンもありま

すので、そのような面で売り出す方向もあると思います。

## ◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために必要な取組は何だと思えますか？

### 「子育て、安心(治安)、高齢者福祉」

これまでお話してきましたが、やはり、「子育て、治安、高齢者福祉」の充実を望みます。

芦屋市では、高齢化に向け、現在、地域包括ケアシステムの構築を進めていますが、今の段階ではまだ拠点整備のイメージを強く感じます。

しかし、10年、20年後の芦屋市を考えると、最終的な「人の看取り」まで視野に入れた地域包括ケアシステム整備が重要になるのではないのでしょうか。これからの高齢化を考えると大変重要な概念になると思います。

それと、今は健康意識の高い人が多い芦屋ですが、今後も市民の健康意識を高めていくため、さらに健診事業の充実を図る必要があると思います。

## ◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

子育て、安心(治安)、高齢者福祉

# 芦屋市薬剤師会

会長 仁科 睦美さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### まちが美しい

街並みがきれいで、クロマツが芦屋川沿いにあって素晴らしいと思います。維持にはお金がかかりますし、一般的に松の木は松くい虫にやられてしまってダメになることが多い中、芦屋市のクロマツはよく手入れされています。

また、緑が多く空間が広いと思います。特にJRから山側は住宅一戸の面積が大きく、すごいと思うお家がたくさんあります。ゆとりを持って自分のペースで生活をされているような印象を受けます。芦屋の方はせかせかされていませんし、大変おしゃれで身の回りをきれいにされていると思います。皆さんが気を遣っているの、全体が良くなっていると思います。

### パチンコ店などの娯楽施設は無い

パチンコ店などの娯楽施設はありません。小さいまちですので、私はそうした娯楽施設がない方がまちはスッキリして良いと思います。

また、商店があまりないというか、あっても小さいお店です。芦屋には大規模なショッピングモールよりも小さいおしゃれなお店の方が似合っているように感じます。



## ◆ 芦屋市の強みは何だと思えますか？

### まち全体にゴミが散らかっていない

まちが大変きれいです。樹木の葉っぱなども、あまり散らかっていません。ゴミ出しも皆さんが時間外に出さず、マナーを守っておられるから道路がきれいです。カラスに荒らされているような所をあまり見ることがなく、素晴らしいと思います。

### まち中で嫌な匂いがしない

工場もないし、大きな市場もないので、まちなかでも変な匂いがしません。匂いで嫌な思いをしたことはありません。むしろ何となくよい薫りがするようにも思います。

### お店が早く閉店してしまう、お店がよく替わる

私は20時頃まで仕事をする場合がありますが、20時を過ぎるともうお店が閉まり、照明が消えているお店が多くあります。例えば、レストランに入ってもラストオーダーの時間がとても早いように感じます。

夜に食事をする所がない点は不便に感じています。これはお店を開けていてもあまり人が入らないからでしょう。芦屋に住んでおられる方は、車でお迎えが来てそのままお家に帰るというパターンが多いのかもしれませんが。特に阪急やJRの山側はその傾向が強いと思います。

また、JR芦屋駅付近や商店街、道路沿いではお店の入れ替わりも早いように感じます。

◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちに  
なっていればいいと思いますか？

**若い人が住みつくまち、そして帰ってくるまち**

芦屋の多くの子どもさんは私学に行くようです。そして就職して、その子どもさんが海外で生活をされているご家庭も多いように感じます。

その結果、後期高齢者の親御さんがおひとりで生活されている場合が多く、お手伝いや見守りに来てくれる人がいないという状況も見受けられます。親が高齢になっても家に若い人がいないのです。もっと、若くても芦屋に戻って来られるようなまちになってくれたらいいと思います。

もちろん各ご家庭にはそれぞれの事情があるとは思いますが、代々とは言わなくても誰かが芦屋に戻ってくれば、芦屋のまちはより賑やかになるのではないのでしょうか。

これから高齢化社会になるので、私はその辺りを心配しています。近所に子どもがいなくてお年寄りが一人で暮らしていくのは寂しいでしょう。

山手の方にお住まいのお年寄りで、芦屋の駅前に転居される方もおられると聞いています。結果的に生活に不便だから転居して来られるのでしょうか、どこか寂しいように思います。やっぱり若い人が戻って来られるようなまちになって欲しいと思います。

**人が集まるような芦屋に**

芦屋にはホテルが少ないですね。また、大きな会議場も、音楽のすごい楽団を呼ぶような施設也没有。大阪でフェスティバルがあれば大阪に泊まってしまいます。

今は芦屋にそういう施設がないから仕方ありませんが、ポテンシャルを持つ人が活躍できるようにしてほしいと思います。

**ひとり暮らし高齢者にも配慮されたまち**

南部にある浜風町付近の一戸建ての地域は若い人がいなくて高齢化が進んでいます。

このような地域では、ひとり暮らしの高齢者の方のケアも必要になるでしょう。例えば、薬局に来て頂いた時、話を聞いてあげたり助言をしてあげたりすると30分程楽しく喋って帰られます。また「今日は混んでいるから話せないね」とか、「何時頃なら空いている？」とか言われます。普段会話することが少ないから、話したいのだと思います。一人住まいの高齢者が多いと感じており、介護予防面からも外に出て人と話す機会があればよいと思います。

◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために  
必要な取組は何だと思いますか？

**経験や知識を芦屋に還元してくれるまちづくり**

芦屋で育った子どもたちが、自分で蓄えた経験や知識を芦屋のまちに還元して貰えればうれしいと思います。もし、芦屋で花を咲かせてくだされば、芦屋はもっと魅力的なまちになるのではないのでしょうか。

◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

「生き生きとした活気のある  
音楽、美術のあふれるまち」

素敵なまちですが、もう少し文化面を強化していただければと思います。現在、市民センターで色々な催しものをされていますが、施設が古くなって狭くなってきているように思います。最近では芦屋出身のお相撲さんや音楽家も有名ですから。

# NPO法人 芦屋市体育協会

会長 西田俊一さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### 市民の積極的な参画協働で「今の芦屋」がある

小さな市なので、地域で互いの顔がよく見える分、他市に比べて市民のモラルやマナーが良く、横のつながりも強いので、市民や市民団体等が相互に協力、連携し、自分たちで問題を解決する力を持っているように思います。

地域のためにできることをやろうと、応援する人と汗を流す人が一緒になり、今の芦屋の市民文化を市民自らが構築してきた感があり、行政も市民の応援で様々なことができていることを理解し、尊重しているように感じます。

行政だけに任せずにまちづくりに積極的に参画協働してきたことで「今の芦屋」があると思います。

### ASHIYA らしさも変わりつつある

ただ、少子化高齢化の波が芦屋市にもひしひしと訪れ、阪神・淡路大震災以降リーダーシップをとってきた市民団体も、代表者の高齢化などで代替わりがうまくいかなくなる兆しがあり、震災以降の新しい市民も増えたことから、ASHIYA らしさも少し変わってきているのかと思います。



## ◆ 芦屋市の強みは何だと思いますか？

### 代々受け継がれてきた市民力の高さ

芦屋の人には、人生に対する豊かさがあり、市に対する思いが強いことから、公共施設が十分ではないにもかかわらず、スポーツや文化を育む環境は大都市に負けていません。

行政から言われてやらされているのではない、古くから受け継がれた阪神モダニズムに代表される市民の気質だと思います。この気質こそが芦屋市の自慢できる点「市民力」だと思います。

## ◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていけばいいと思いますか？

### 市全体をひとつの「チーム芦屋」に

少子化で生徒が減少し、チームスポーツが成り立たず廃部になったり、部活動の指導を学校の先生だけではまかなえなくなりつつあります。

小さな市(まち)であるが為、数で他市と競争するのは、あらゆる分野で難しいと思います。

少子高齢化はますます進むので、学校単位でスポーツを考えるのではなく、市全体で力をひとつにして「チーム芦屋」としてひとつのクラブにまとめることが必要ではないでしょうか。そうすることで、指導者の確保もしやすく、数少ないスポーツ施設を有効利用できるなど、子どもたちがスポーツする環境が整います。

### スポーツ文化で 子どもから高齢者まで多世代が活動・交流

「チーム芦屋」の拠点として、地域総合型スポーツクラブを行政と市民団体が協力してつ

くることができれば、スポーツのあり方が大きく変わります。

地域の元トップアスリートの指導を受けるなど専門の指導者も確保でき、子どもたちも多くの種目の部活動が可能です。そこにスペースを併設すれば文化活動もできます。

それにより、トップアスリートを生み出す環境と、健康スポーツや文化、イベントなど、市民がそこに行けば何かができるという環境が整い、子どもから高齢者まで多世代が活動・交流でき、まちづくりの拠点にもなります。

小さな芦屋市だから力をひとつにすることによる「芦屋オリジナル」の環境整備はそんなに難しくありません。

#### ◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために必要な取組は何だと思いますか？

##### 世界一の医療・福祉サービス

芦屋に生まれ育ち、最期は芦屋で迎えたいという市にするためには、質の高い医療や福祉サービスが求められます。市民病院のサービスを充実させ、それにつながる介護や末期の人生に対する環境を整えることで、私立に負けない世界一のサービス水準を確保し、市民の満足を得られれば、大きな税金をつぎ込むことになっても、市民も納得するはずです。

##### 既成概念にとらわれず、私学に負けない公立中学校をつくる

芦屋の子どもたちは、中学校から私学志向ですが、地元意識を高めるためにも、中学までは芦屋にいてほしいと思います。

そのためには、公立中学校の意識改革を行い、塾に行かずとも勉強ができる環境など、私学に負けない教育水準と教育環境を既成概念にとらわれず整えることが必要です。先生が忙しいのであれば、部活は地域の指導者に任せ、その時間を補習に充てるなど、学校は学力向上に専念すればいいのではないのでしょうか。

これにより、芦屋に住みたい子どもを育て、

一度外に出ても芦屋に帰りたいという市になってほしいと思います。

##### 市民の潜在能力を市の潜在能力として生かす

スポーツや文化については、芦屋には様々な分野で秀でた市民がいるので、その能力を地元のために還元できるステージを行政が用意することで、芦屋市民の潜在能力を芦屋市の潜在能力として生かせる仕組みを市が政治的判断で作るべきです。

#### ◆ スポーツからみたまちづくり

##### スポーツマンシップで市民マナーを向上

スポーツにはルール、芸術には作法がありますが、ルールや作法を守るのは当たり前であり、その前にはマナーがあるので、ルールに書かれていないマナーを重んじることが重要です。体育協会には約6千人の会員がいるので、その家族も含めて、マナーを守ることができれば、いいまちになります。

スポーツで元気なまちづくり、スポーツマンシップで市民マナーを向上していこうというのが、競技力の向上はもちろん、体育協会のもうひとつの役目だと思っています。

「するスポーツ、見るスポーツ、支えるスポーツ」と言われますが、市の施設には観客席がほとんどありません。応援されると、良いプレーができるし、見本になるようなプレーをしないといけないという気持ちになります。観客席がないので、見るできないのが問題です。

#### ◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

##### 国際文化住宅都市 芦屋

多世代が共存し、障がい者と健常者が一緒にスポーツ等を楽しめる、世界で一番住みたいまち。本当の意味で、世界に発信できる国際文化住宅都市になってほしいと思います。

# 芦屋市レクリエーションスポーツ協会

会長 大崎 洋二さん

## ◆ 芦屋市はどんなまちだと感じていますか？

### どこに行っても“あしやから来ました”と言うと通じる(先人の遺産)

芦屋の認知度は高いと思います。山歩きなど他の市町村に行ったときに、その土地の方にどこから来たか聞かれても、「芦屋です。」と言うとすぐ分かってもらえます。そういった点で素晴らしいまちだと思います。

だいたい場所で「芦屋」は通じると思います。

### お金持ちが大勢住まれているまちというイメージ

やはりお金持ちのまちということで認識されているのではないのでしょうか。市外の方は、直接的にお金持ちのまちだとは言いませんが、そういった意識でお話されています。

特に六麓荘といった地域を想定されているのだと思いますし、共通してそのような認識を持たれているように感じます。



### 芦屋はよいところだと思う

私は転勤族で、もともとは大阪府茨木市からスタートして高槻、所沢、松山、芦屋、東京と転勤してきましたが、色々な街に住んでみて、やはり芦屋は良いところだと思います。ただ一番好きなのは松山。海も近くて魚も美味しかったし人柄も良かった。それと比べると、芦屋はちょっと冷たいようにも感じます。近くの人と会った時の挨拶などですね。やはり、芦屋の方が都会だからでしょうね。

## ◆ 芦屋市の強みは何だと思いますか？

### 自然に恵まれた環境

私は自然に恵まれた環境だと思います。ただ、芦屋は全体的に狭い。東西2km、南北は5km位ですよね。このような狭い市域の中に山があって、海があって、川がある。このようなまちは他に無いと思います。しかも海から山まで歩いて行けるわけですから。まちなかの自然も豊かですね。素晴らしいことだと思います。

南のシーサイドタウンは意識的に作っているので樹木がたくさん植わっており、春になればウグイスが来るし、今だったらメジロが飛んできます。

### スポーツのグループが多く、個人でも参加しやすい

今のデータを見ても、芦屋市のスポーツ実施率、参加率は全国平均よりも高くなっています。全国的にトップクラスなのではないでしょうか。

これには行政の力が大きいように思います。スポーツ推進課が頑張ってくれている。公民館もそうですが、春や秋に山歩きの講座をたくさんされています。

そして活動グループもたくさんあります。もちろん、個人的に歩いている方もたくさんいますが、やはりグループで楽しむのも大事なことだと思います。

---

◆ 10年、20年後の芦屋はどんなまちになっていればいいと思いますか？

---

 **助け合いが確立されたまち**

高齢化が確実に進むので、助け合いが確立されたまちになって欲しいと思います。この助け合いは、いわゆる自助・共助・公助と言われているものです。個人の助け合いと行政の支援が必要だと思います。やっぱり最初は個人同士が助け合わないとダメです。

私の近所にも何人か要介護1や2になられている方がおられますが、やっぱり顔を知らないのでは何も出来ません。顔を知って話すことによって、この人はこういう環境にある、自分はこういうことができるということが分かります。その横のつながりをどんな形で作っていくのかがポイントです。これは行政に助けてもらわないと叶いませんが、芦屋はそういうまちになって欲しいと思います。

---

◆ 芦屋市を魅力的なまちにするために必要な取組は何だと思いますか？

---

 **高層ビルなどの規制の継続**

景観面から、高層ビルなどの規制を継続して欲しいと思います。若い人に芦屋に住んでもらうためには高い建物を建てた方がいいのかもしれませんが、高い建物を建てるとやはり景観や環境が変わってしまいます。ですから私は今まで通りの5階までの高さ規制は継続して欲しいですね。

 **若者が集まる自然を利用した楽しい遊び場づくり**

より若い人が芦屋に集まってくる。何かそんな施設ができればと思います。私にはその具体

的なイメージはありませんが、そういうものももしできれば、まちの活気という点ではいいと思います。今は、芦屋にそういった場所がどこにもありません。北に行くと六甲の国立公園になっているので大きな施設は難しいでしょう。南は場所がないし、だからといってまちなかにつくるのはパチンコもダメ、ゲームセンターもダメでしょう。非常に難しいことは分かっていますが、若い人が集まって活気がでるような施設や場所は必要ではないでしょうか。

 **マナーを守るための人材育成**

私の感覚では、地域差もあるかもしれませんが、地震以降に、信号無視やゴミのポイ捨てが増えてきたように思います。

国際文化住宅都市と言われますが、何も国際都市的なところは無いのではないのでしょうか。色々なルールやマナーを守るところからもう一度やっていかないとダメです。子どもが1~2人信号を待っている時に大人が平気で信号無視していくこともあります。子どもは見ているのです。

基本的なルールやマナーを守るということは、本当の国際都市に必要なことではないでしょうか。

---

◆ 芦屋市の理想の姿を一言で表すと・・・

---

「 **自然との共生** 」

やはり芦屋は、自然とともに生きていかなければいけないし、強みであるのかなと思っています。